

(添付資料) アイスランドにおける火山噴火及び噴煙の観測結果の
英国政府への提供について

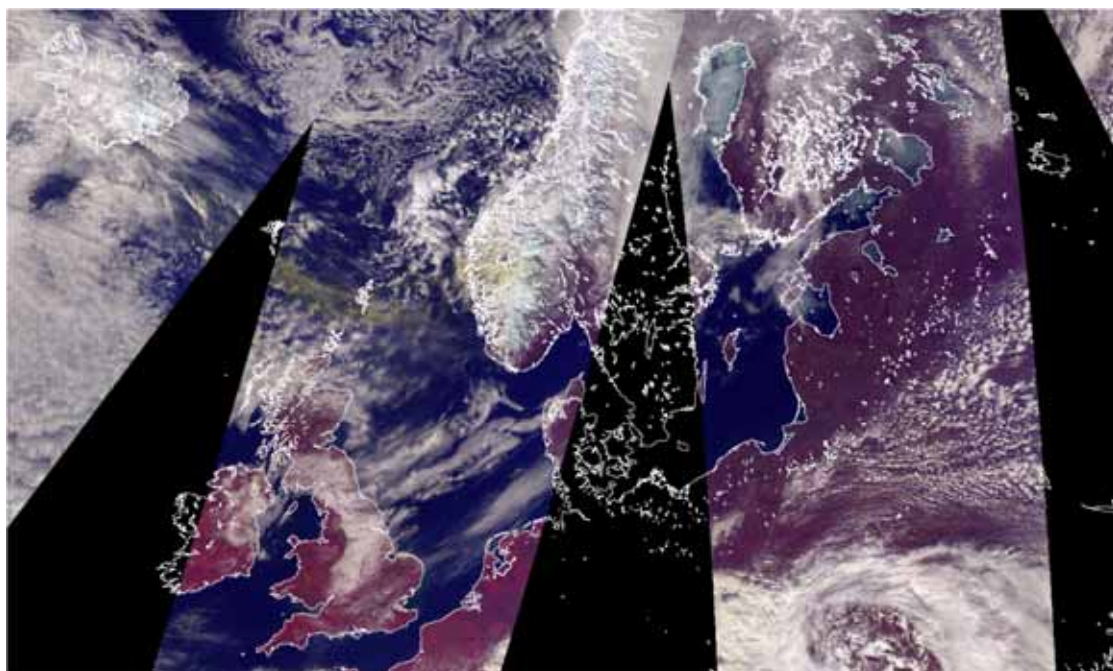


図1 日本時間2010年4月15日に「いぶき」によって観測された火山の噴煙の様子。「いぶき」に搭載された雲エアロソルセンサ(TANSO-CAI)の870nm, 678nm, 380nm波長チャンネル(*)に対して、それぞれ赤、緑、青色を割り当てた合成画像。概ね、雲・雪・海氷、陸の植生域、火山からの噴煙はそれぞれ白、赤、黄色で示されている。本画像は「いぶき」が4月15日に欧州上空を4回通過した際に撮影した画像を重ねて作成された(**)。その際に観測領域に含まれなかった部分が黒抜きになっている。

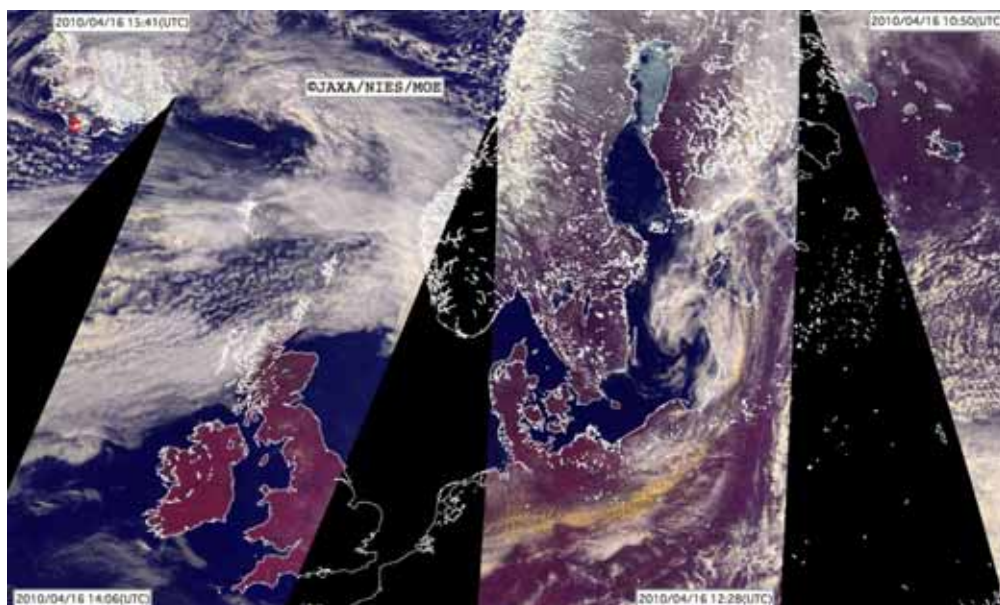


図2 図1と同様。「いぶき」が4月16日(日本時間)にロシア～欧州上空を4回通過した際に撮影した画像より作成。

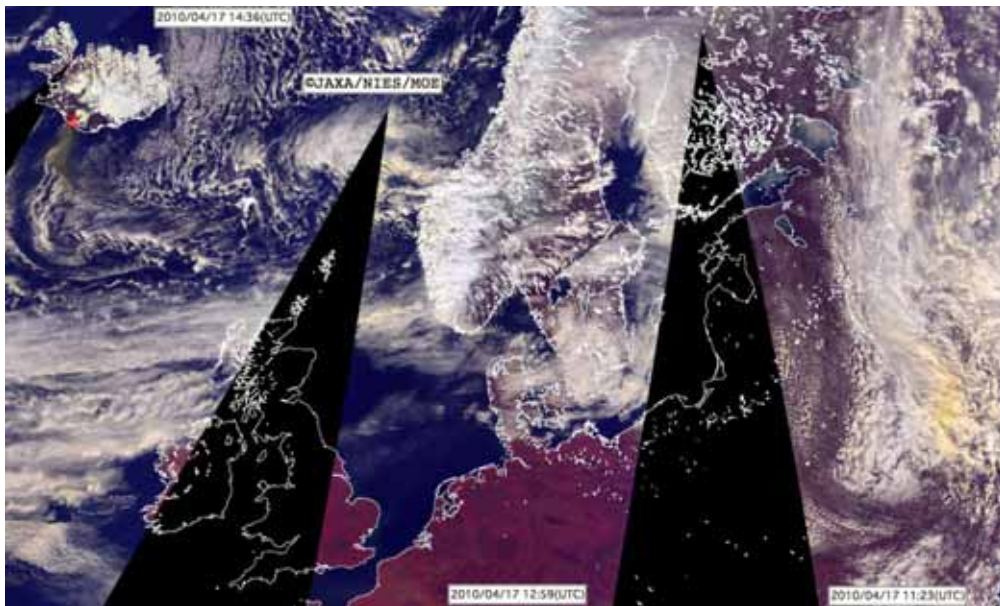


図3 図1と同様。「いぶき」が4月17日(日本時間)にロシア～欧州上空を4回通過した際に撮影した画像より作成。

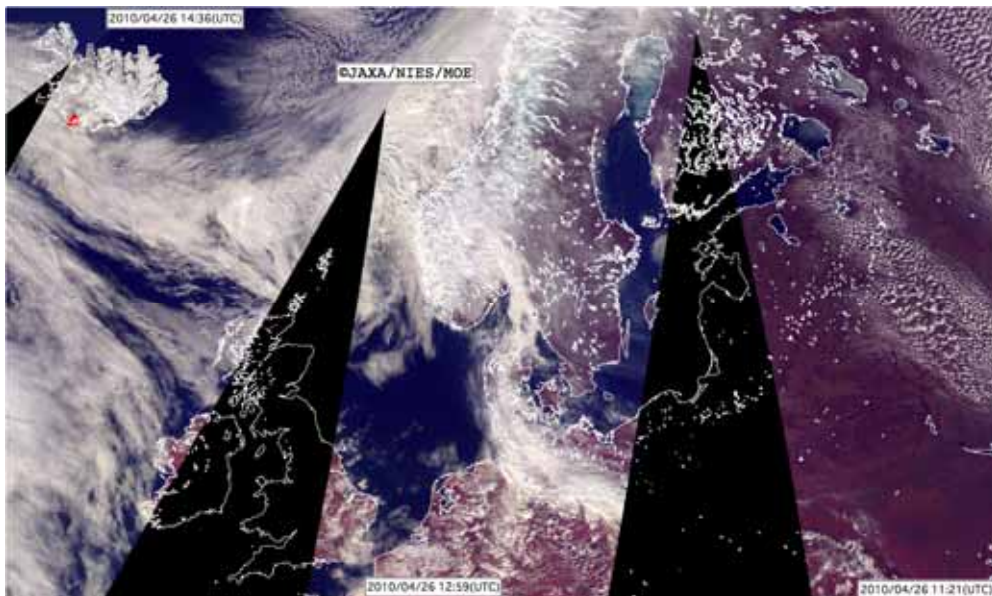


図4 図1と同様。「いぶき」が4月26日(日本時間)にロシア～欧州上空を4回通過した際に撮影した画像より作成。

(*) 870nmは近赤外域、678nmは可視域、380nmは紫外域と呼ばれる波長域。「いぶき」の雲エアロソルセンサは、近赤外域、可視域、紫外域のいずれも太陽光が地表面や雲で反射された光を観測している。

(**) 「いぶき」は北極と南極を南北に結ぶ高度666kmの軌道を1周あたり98分かけて周回している。このため次に通過する軌道で取得された画像の撮影時刻は98分ずれている。